



株式会社フコク(東証プライム:5185)

2026年9月29日

決算説明

2027年3月期第1四半期

Yes, We Do!

1. 決算のポイント
2. 2027年3月期第1四半期実績
3. 2027年3月期業績予想
4. 次期中期経営計画に向けて
5. 事業の取り組みの進捗

1. 決算のポイント

| 2027年3月期 第1四半期実績

売上高/増収、営業利益/増益

新製品や中国でのワイパーが好調な機能品事業を始め、ライフサイエンス事業、ホース事業が堅調に推移。売上高増加に加え、原材料費の高止まりや労務費上昇等に対する合理化や変動対応等の取り組みが功を奏し、増益。

| 2027年3月期 通期予想

売上高/減収、営業利益・経常利益/減益、当期純利益/増益

第1四半期の業績は売上高・利益面とも堅調に推移したものの、足元での中東情勢の緊迫化を背景とした原材料・エネルギー価格の上昇及び操業度の低下等が、第2四半期以降の業績に影響を及ぼすと想定。

2026年5月15日発表数値を据え置く。

収益拡大と資本効率向上を最優先とし、その実現に向け事業運営を強化していく。

2. 2027年3月期第1四半期実績

業績概要（連結）

（単位：百万円）

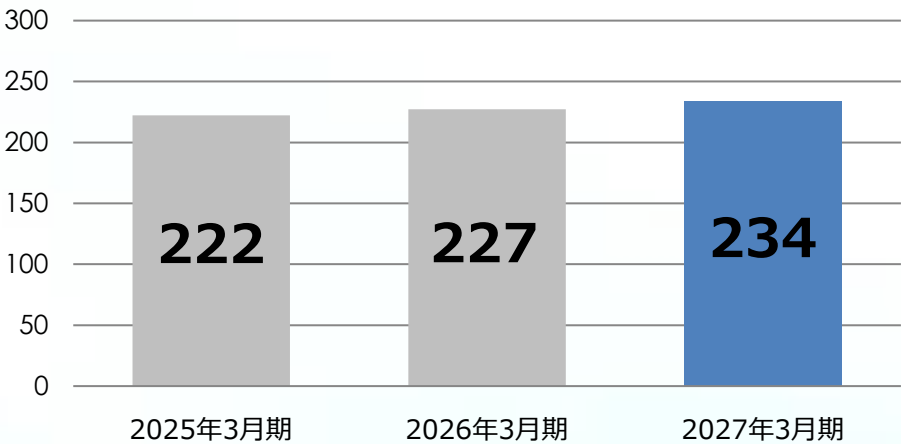
	2026年 3月期	2027年 3月期		
	第1四半期 実績	第1四半期 実績	前年増減額	前年増減率
売上高	22,720	23,358	638	+2.8%
営業利益	1,000	1,515	515	+51.5%
(売上高対営業利益率)	(4.4%)	(6.5%)	(+2.1pp)	
経常利益	917	1,578	661	+72.0%
(売上高対経常利益率)	(4.0%)	(6.8%)	(+2.8pp)	
当期純利益	493	999	506	+102.6%
(売上高対当期純利益率)	(2.2%)	(4.3%)	(+2.1pp)	

※pp=パーセンテージポイント

2. 2027年3月期第1四半期実績

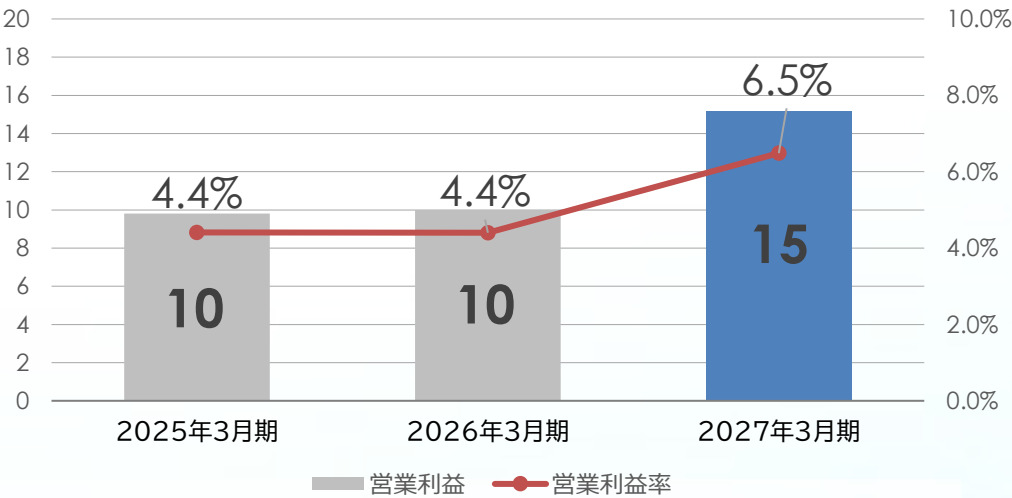
業績推移（連結）

売上高

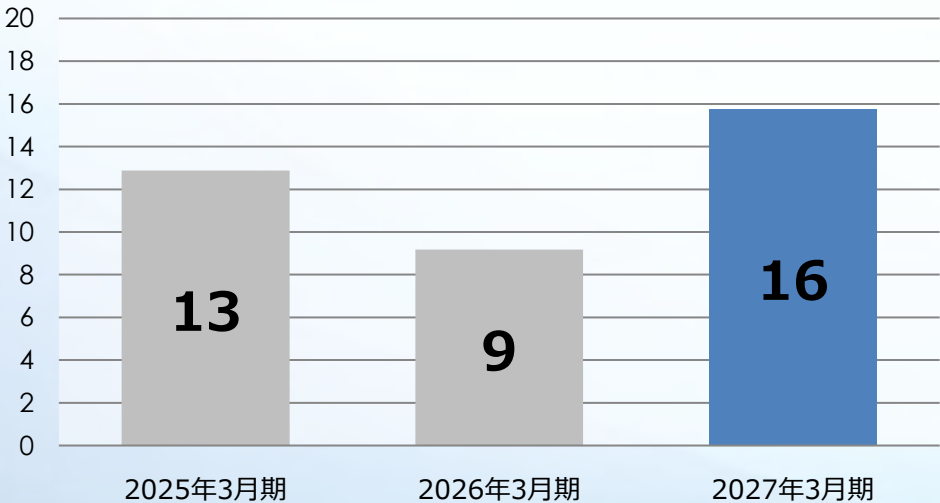


営業利益・利益率

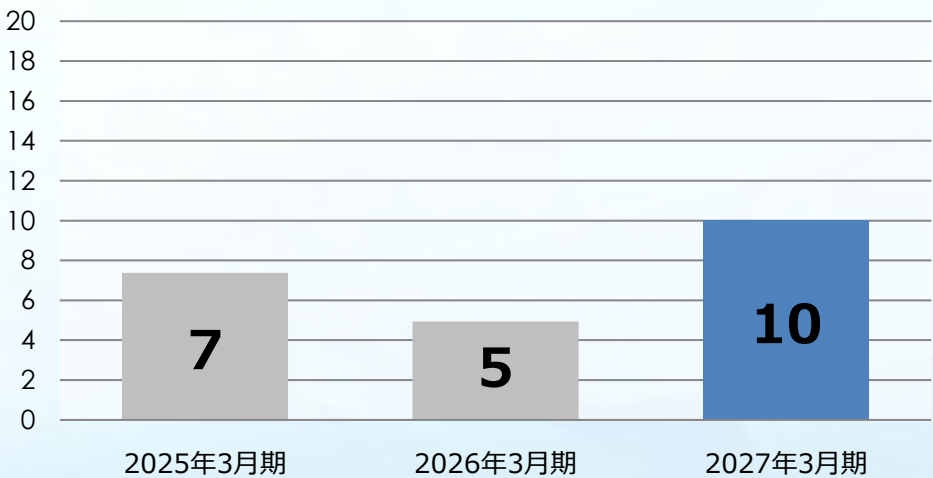
(単位：億円)



経常利益



当期純利益



2. 2027年3月期第1四半期実績

業績セグメント（連結）

（単位：百万円）

		通 期				コメント
		前期	当期	当期－前期	対前期比 (%)	
機能品セグメント	売上高	10,373	11,182	809	107.8	中国系ワイパーメーカー向けの受注が堅調に推移し増加
	営業利益	1,100	1,409	308	128.0	売上高の増加に加え、赤字低採算製品の削減、価格適正化努力、及び生産性向上の効果により、原材料費や労務費等の上昇を吸収できたことで増加
防振セグメント	売上高	9,804	9,667	▲ 137	98.6	前期のFIPL決算期変更の影響を除くと、実質411百万円の増収
	営業利益	695	867	171	124.7	原価低減努力、価格適正化努力、及び生産性向上の効果により、金具鋼材費や労務費等の上昇を吸収できたことで、増加
ライフサイエンスセグメント	売上高	261	274	13	105.0	バイオ関連製品の受注が堅調に推移し増加
	営業利益	62	62	0	100.2	
金属加工セグメント	売上高	1,204	955	▲ 248	79.3	採算性向上に向けた事業の選択と集中を進め減少
	営業利益	30	27	▲ 3	89.9	非採算部品撤退により収益性は改善したが、事業シフト完了後の新たな成長に向けた建設機械ビジネスへの設備投資に伴う償却費の増加があり減少
ホースセグメント	売上高	1,283	1,481	198	115.5	商用車向けの受注が堅調に推移し増加
	営業利益	108	218	109	200.6	原材料費や労務費等の上昇を生産性の向上や合理化、売価反映等により吸収したことで増加

3. 2027年3月期業績予想

業績予想（連結）

（単位：百万円）

	2026年 3月期 通期 実績	2027年 3月期 通期 予想	前年増減額	前年増減率
売上高	90,025	85,000	△ 5,025	△5.6%
営業利益 (売上高対営業利益率)	3,806 (4.2%)	3,300 (3.9%)	△ 506 (△0.3pp)	△13.2%
経常利益 (売上高対経常利益率)	3,864 (4.3%)	3,300 (3.9%)	△ 564 (△0.4pp)	△14.5%
当期純利益 (売上高対当期純利益率)	1,144 (1.3%)	2,300 (2.7%)	1,156 (+1.4pp)	+101.0%

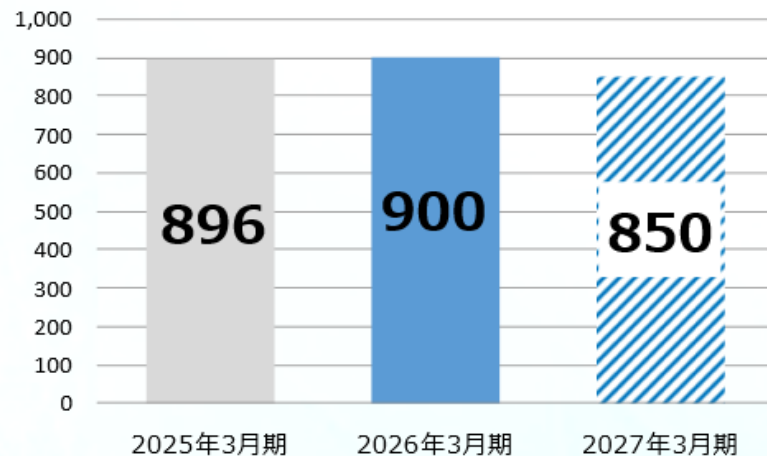
※pp＝パーセンテージポイント

3. 2027年3月期業績予想

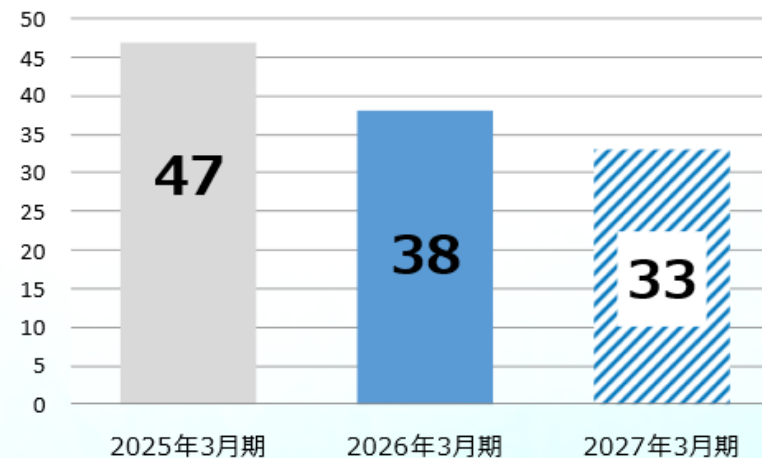
予想推移（連結）

（単位：億円）

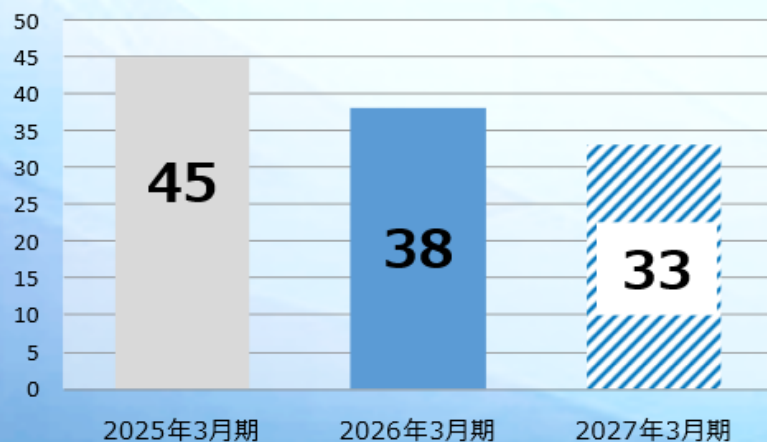
売上高



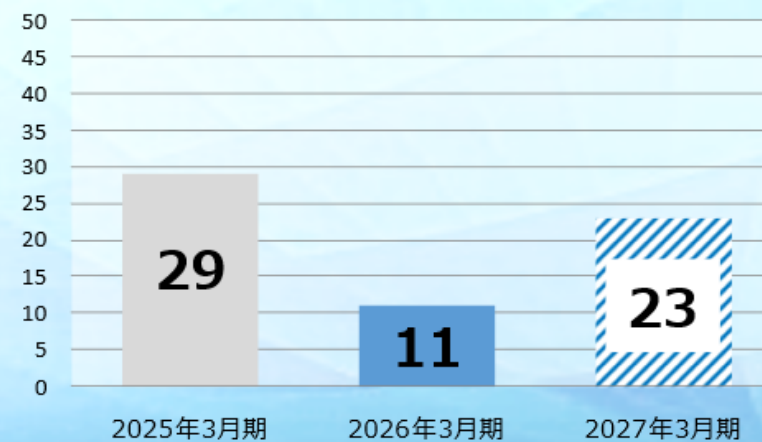
営業利益



経常利益



当期純利益



4. 次期中期経営計画に向けて

設備投資、減価償却費、研究開発費

単位：億円
●：売上高比

設備投資



研究開発費



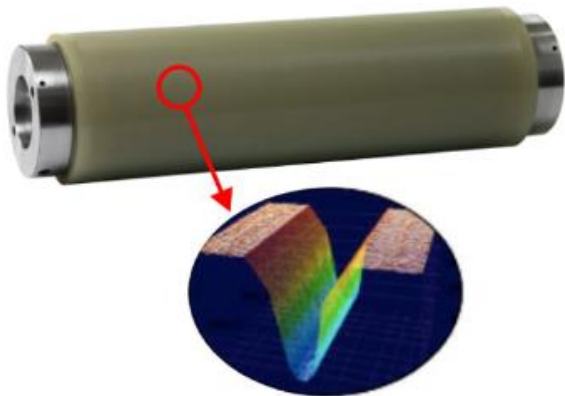
営業キャッシュフローの大部分を70億円の設備投資に充当、開発費も増額

5. 事業の取り組みの進捗

社会動向に対応・新分野への挑戦

半導体関連製品

シリコンウェーハ製造用
ワイヤーソーのウレタンローラー



世界トップシェア

熱マネジメント/電動化とAI普及



車載用電池



データセンター



JAXA 宇宙戦略事業基金採択

高G対応非線形

ゴムアイソレータ



極低温対応

ワイヤアイソレータ



「広温度域で使用可能な
振動減衰機構」の開発

将来を見据え、熱マネジメント分野や宇宙分野へ進出

強い成長地域への拡販

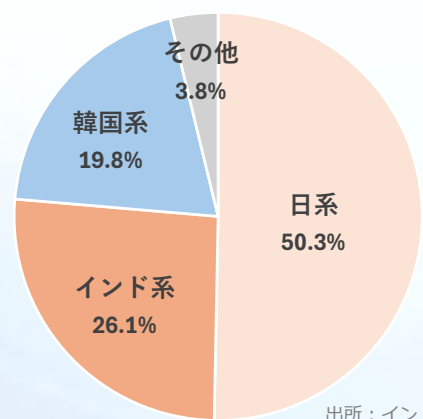


- 日系メーカーに高いシェア
- 韓国系メーカー取引開始



- インド系メーカーのシェア拡大継続

インド市場自動車販売 カーマーカーシェア

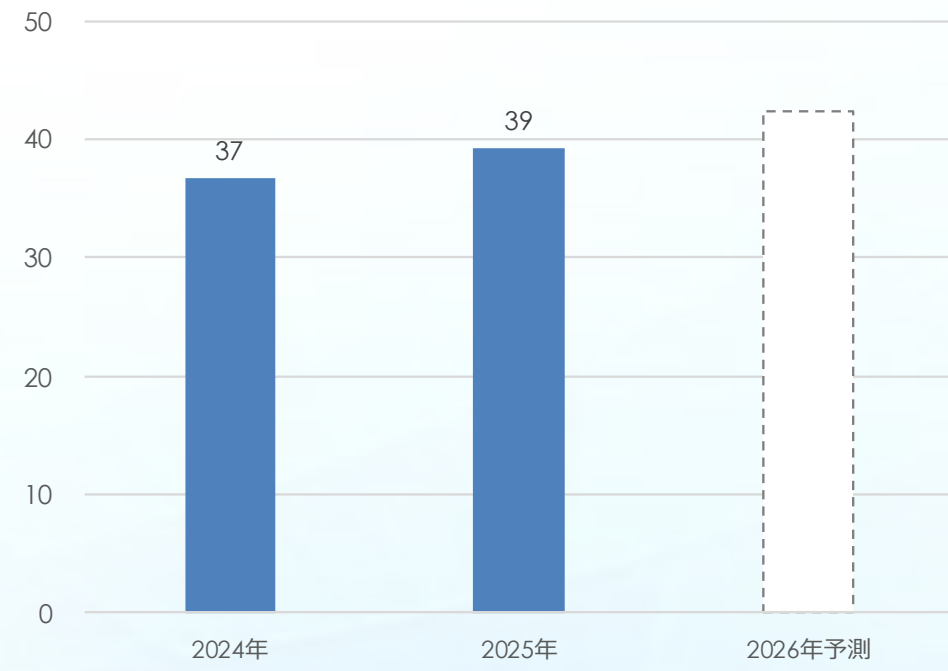


出所：インド自動車工業会 (SIAM)



インド顧客向け売上高推移

(単位：億円)



インドにおける日系メーカー高シェアを維持、日系以外のメーカーにも拡販

